

「学校教育目標」(校訓)

明るく……「明るく素直で 思いやりのある子」「元気よく あいさつのできる子」

強 く……「強い体力と がんばりぬく 気力のある子」

まじめに……「人の話をよく聞いて まじめによく考え 善悪をわきまえて 行動できる子」

「令和8年度重点努力目標」

わかる喜び 学ぶ楽しさの実感

豊かなこころ

- ・認め合い・高め合う仲間づくり、児童と教職員との信頼関係
- ・道徳教育や体験活動
- ・児童相互の共感的な人間関係を基盤とした学年経営・学級経営
- ・挨拶を軸とする基本的な生活習慣の充実
- ・自主的で楽しい特別活動
(学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事、特別クラブ等)

健やかな体

- ・体力の増強(体育の授業、体育的行事、日常の遊びや運動)
- ・健康増進 (早寝・早起き・朝ごはん、基本的な生活習慣、規則正しい生活、バランス取れた食生活)
- ・安心・安全な環境づくり
(危機管理マニュアル、各種避難訓練、職員の研修等)

資質・能力の育成

※【 】内は、R7学校評価「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計

何ができるようになるか

◇ 学校教育の基本

- ① 学習したことや体験したことを生かして学ぶ
- ② その場の状況に適した対応をし、課題解決しようとする
- ③ 主体的に関わり合い、多様な他者と協働しながら考え、行動する

何が身についたか

◇ 学習評価を通じた学習指導の改善

- ① 学習したことや体験したこと、学習活動や日常生活等を比べたり、つなげたりできる
- ② 相違点や類似点に気づき、どのように生かしたらよいか考えている。
- ③ 予想外の場面に出会ったときに、それを把握し、解決を目指す。
- ④ 友達の考えや調べたことについて、一歩立ち止まって考えを巡らせ、自分の考えを再構成している。

子どもの実態

- ◎ 素直に活動に取り組む
- ◎ 主体的(行事、当番活動、委員会活動等)
- ◆ 話をしっかり聞いて考えることに課題
- ◆ 自分の思いを言語化することに課題

【楽しく過ごしている96.8%
行事等に積極的に参加している89.9%
挨拶ができる84.9%
ルールやマナーを身につけている90.7%
家庭学習が身につけている74.8%】

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

- ・日々、児童理解に努める
- ・一人一人の子どもと向き合う時間の確保をする
- ・コーディネーター、相談員、SA、SC、通級担当等と連携して、子ども一人一人の教育ニーズを把握し支援を行う(個別最適な学び)
- ・職員間で情報共有を定期的に行い、協働して支援に当たる

目指す子どもの姿

- 相手の伝えたいことを考えながら聴く
- 自分の思いを言語化し、アウトプットすることができる
- 意欲的に学び続けるねばり強さ
- 地域愛 多様性

何を学ぶのか

◇ 教育課程の編成

- ①基礎学力(漢字、計算、各教科言語、語彙等)を身につける
- ②「聴いて考えてつなげる」学び方を身につける
- ③各教科で身につけた力を表現活動などに活用する
- ④家庭との連携により家庭学習の習慣化を図る

どのように学ぶか

◇ 学習評価を通じた学習指導の改善

- ①「新川小学習スタイル」(仮)の授業(学習規律の確立)
- ②学年間や教科間のつながりを踏まえた活動
- ③振り返りにより、既存の知識・技能、新たな知識・技能を関連づける。(資料、板書、ワークシート等の工夫)

実施するために何が必要か

◇ 指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 児童の自己肯定感を高め、安心して生活できる集団の育成
- 挨拶を軸とする基本的な生活習慣の徹底
- 道徳性の確立(教育活動全体、特別の教科道徳等)
- 特別活動の充実(学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事、特別クラブ等)
- 教職員の指導力向上(現職教育・指導力向上事業・教員研修指導・指定研究等)
【指導力向上の取り組み88.9%】
- 子ども理解を基盤とした授業づくりの推進
- カリキュラムマネジメントの充実
- 子ども支援のための外部機関等との情報共有・協働
- 幼・保・小との連携
- 地域素材や地域の諸団体との情報共有・協働
- 懇談会やおたより等での家庭への啓発・情報提供

安心・安全を守る

- 「自分の命は自分で守る」指導(各教科・学活等)
- 子どもたちの安心安全を守る
(危機管理マニュアル・避難訓練・いじめ防止基本方針・特別支援コーディネーターによる相談等対応・外部関係機関との連携・安全点検等)

【保護者の悩みや相談への対応92.3%】



開かれた学校づくり

- 地域との連携・協力
- 学校からの情報発信(tetoru、ホームページ、おたより等)
- 地域ボランティア(おかしら運動、赤いエプロン、イエローバンジー、登下校交通見守りボランティア、鶴ヶ崎山車保存会)
- PTA活動(資源回収、通学路改善点検、運動会支援、家庭教育研修講座、学校新聞等)

【子どもの相談に応じる92.3% 保護者の意見を教育活動に生かす89.1% 信頼される学校づくり93.3%】